

平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

男子 1回戦

大和高田市立高田商業

65

92 柏日体

主審 植田 浩司

(奈良)

●

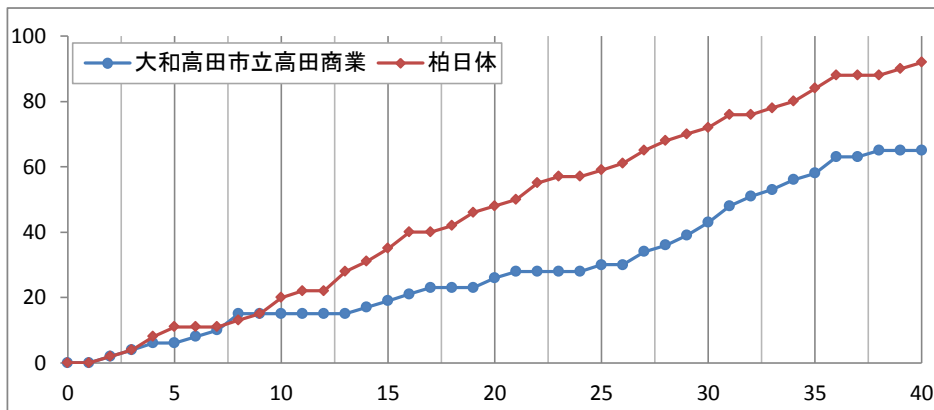
○ (千葉)

副審 二宮 健吾

No. 29c3

日時: 2013年7月29日(月) 12:50

会場: ベっぷアリーナ



大和高田市立高田商業

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 脇山 太希 (C)	15	0	6	3	3
5	花谷 優太	0	0	0	0	0
6	関 凌佑	11	1	4	0	1
7	* 吉田 勝貴	5	1	0	2	0
8	* 金子 慎太郎	11	1	4	0	1
9	早川 瞬弥	11	3	1	0	1
10	下馬 俊亮	0	0	0	0	0
11	東 草太	4	0	2	0	1
12	吉田 将司	0	0	0	0	0
13	花田 裕人	0	0	0	0	0
14	* 表 稔也	8	0	4	0	4
15	* 下浦 星輝	0	0	0	0	0
コーチ	中窪 讓					
合計		65	6	21	5	11

柏日体

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 松岡 修平 (C)	20	2	6	2	0
5	* 保岡 龍斗	26	2	9	2	2
6	高梨 和哉	10	0	4	2	0
7	小林 岳	0	0	0	0	0
8	島根 和也	18	0	9	0	2
9	小澤 誠一	0	0	0	0	0
10	ディオフ グレゴアール	4	0	2	0	1
11	堀内 孟	2	0	1	0	1
12	* 小野 蒼太	8	2	1	0	1
13	宮本 拓実	0	0	0	0	0
14	* 陳 浩	4	0	2	0	2
15	* 土屋 哲平	0	0	0	0	1
コーチ	野澤 亨					
合計		92	6	34	6	10

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

第1ピリオド大和高田市立高田商業、柏日体ともにハーフコートマンツーマンDefで試合開始。柏日体#4のジャンプショットで先制。柏日体が流れを掴もうとする。しかし、お互いに固さが見られショットを打つもなかなか決まらない。膠着状態を破ったのは柏日体#5の3ポイントショット。そこから5番を中心に柏日体が得点を重ねていく。対する大和高田市立高田商業も#4を中心に積極的にリングを狙い、くらいついていく。第2ピリオド大和高田市立高田商業は、2-3のハーフコートゾーンにDefを切り替えスタート。しかし、柏日体の#10の高さを生かしたリバウンドに苦しむ。ゴール下を優位にした柏日体が3連続得点を重ね、大和高田市立高田商業はたまたずタイムアウト。その後#15のゴール下のショットで反撃の流れを作るが、柏日体はそれを許さず、インサイド、アウトサイド両面から得点を重ねていく。残り8秒で大和高田市立高田商業の#4の鋭いドライブインがファウルを誘いフリースローを得る。これを1本決め、26-48で前半終了。

第3ピリオドも前半の勢いのまま柏日体が#4、#5を中心に得点を重ねていく。タイムアウトを取り、流れを変えたい大和高田市立高田商業はパス速攻とインサイドに対する懸命のDefでくらいつく。残り1分で#8の3ポイントショット、#6、#4のランニングシュートで最後のピリオドに望みをつなぐ。第4ピリオド大和高田市立高田商業は2-1-2のオールコートゾーンプレスで勝負にでる。連続得点で点差を縮めるも、柏日体も#8のジャンプショット、#5のスティールからの速攻で反撃、両者一歩も譲らず激しい攻防が繰り広げられる。大和高田市立高田商業は#4、#6、#7のドライブを中心としたOffで得点を狙うも得点が伸びず、65-92で柏日体が勝利した。お互いの持ち味を十分に発揮した好ゲームであった。

記載者

安部 卓明

(所属) 大分県バスケットボール協会